

分野・カテゴリ	技術	製品名/シリーズ名	機能・役割
 <p> 製薬</p>	<p>X線回折</p>  <hr/> <p>蛍光X線</p> 	<p>SmartLab MiniFlex MiniFlex XpC</p> <hr/> <p>ZSX Primusシリーズ Supermini200 EDXシリーズ</p>	<p>医薬品の原薬は温度や湿度等の影響で、同一の組成であっても結晶形が変化することがあります。それぞれの結晶多形ごとに溶解度や体内への吸収速度が異なることから、医薬品の開発、製造においては結晶多形を区別し、定量することが必要になります。X線回折により、被検試料がどの結晶構造に帰属するかを調べることができます。</p> <hr/> <p>患者が服用する医薬品の安全性を確保するため、不純物の元素を管理する必要があります。蛍光X線分析は不純物元素の管理に役立っています。</p>
 <p> 製剤</p>	<p>CT</p>  <hr/> <p>熱分析</p> 	<p>Nano3DX CT Labシリーズ</p> <hr/> <p>TG-DTA DSCシリーズ</p>	<p>お薬が早く効く、遅く効く(即効性・遅効性)、長く効く(徐放性)などは製剤設計で決められます。X線CTでは主に顆粒剤、錠剤、およびカプセル内部のひび割れ(キャッピング)、空隙、コーティングの不均一性または剥離、相変化などの内部構造を検査、管理に用いられます。欠陥をなくすことで効能を最大限に引き出し、副作用を防止します。</p> <hr/> <p>熱分析装置では医薬品を加熱した際に見られる重量変化やエネルギー変化、発生ガスを測定することが可能です。主成分量が異なる医薬品同士を比較する、医薬品の安定した形状を調査するといった場面で役に立ちます。</p>
 <p> 製薬</p>	<p>携帯型ラマン</p> 	<p>Progenyシリーズ CQL IDシリーズ</p>	<p>医薬品の製造現場では、原料に間違いがないか、入荷時にすべての原料を確認する必要があります。携帯型ラマン分光計を使用することで、ポリ容器、ガラスビンなど入荷した状態のまま内容物を測定することが出来るので汚染の心配がありません。</p>
 <p> 動物病院</p>	<p>CT</p> 	<p>Cosmo Scan/Stella Scanシリーズ</p>	<p>小型動物を生きのまま骨格や内部器官の観察ができます。創薬開発における安全性試験や薬効薬理試験など、人の疾病の治療や予防につながる貴重な研究に役立ちます。近年ではCOVID-19の研究などに大いに貢献しています。</p>
 <p> 生体由来抽出試料</p>	<p>CT</p> 	<p>Nano3DX CT Labシリーズ Cosmo Scanシリーズ</p>	<p>骨、歯、摘出臓器など生き物のさらに微細な構造を観察することで、より多くの人の疾病の治療や予防などの健康につながる貴重な研究に役立ちます。</p>